2 2	tコード 2 6 3	_	_		康 係 生年金			育児 出書(新		美等取 •延長			畐						
令 提 出 者	事業所整理記号	F	月 F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	3提出	がないこ		認しました	•										受	付印
記入欄	事業所 名 称 事業主 氏 名 電話番号		()						社会(呆険: *	労務士 記					
	・同月内に	合は、 休業等 欄の <u>①</u> 複数回の	共通記載 開始年 9児休業 の育児休	載欄に 月日」 等取得 業を取	育児(と「①) 等日数は は得した	木業! 育児 闌と (3	取得時(休業等 就業予 は、①育	こ提出いた 終 了(予定 定日数欄を	!)年月 必ず記 始年月	日の翌日 入してくだ 日欄に、	引力が さい。	に 同月内 の育児休	<u>の場</u> 業等	合≫ 開始年	月日を、			<u>!入してくだ</u>	<u>さい。</u>
	① 被保険者 整理番号 ③	(フリカ゛ナ				2	個人番	号 	4					年		月		(5)	
共通記載欄	被保険者 氏 名 ⑥ 養育する 子の氏名	(氏) (フ'リガナ (氏)				(名)			②	被保険者 生年月日 (素育する子の 生年月日	(5.昭和 7.平成 9.令和 .令和		年		月	日	被保険者性別	1. 男 2. 女
(新 規 申	8 区分 10		実子 その他 				易合は、⑨ 入してくだ 		育開始年月1 (実子以外)	9.令和		年		月月月月日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	日				
出)	育児休業等 開始年月日 迎 育児休美	9.行				日①	就拿	美予定日数		児 休 業 等 冬了(予定 年月日 ———————————————————————————————————).令和 ^日 (4) パパマ	7育体	プラス該当	当区分		当 (15)	備考	
	※「育児休業等開始領定)年月日の翌日」が同 定)年月日の翌日」が同 予定日を延	月内の場合のみ	記入してください。			定)	記載欄も	年月日」と「育児休業等では、一日日本の場合のみ記入いてくだ。	とい。		✓ ٽ ⊑	*パパママ育体 **パパママ育体 ***********************************		変当する場合 ☑		左	(7)		
近 長	(多定) 年月日 (多定) 年月日 (変更後)	9.7			年 		F		日	۶ آ	月日の 月月内	翌日」が「@ 翌日」が「@ 」の場合は、 な欄も記入し	0育児 17変	見休業開始 更後の育	6年月日	الح	育児伯	道後の 休業等	П
	より早く育児(18) 育児休業等 終了年月日	9.令		持合	※必 す	广共通	記載欄も	記入してくださ	さい。	ਵ	育児体	育児休業等 業等開始 後の育児の い。	年月	3」と同月	内の場合	は、	育児伯	更後の 休業等 詳日数	日
「育児 C.	休業等開始 20 1 育児依 開始生	木業等	J と「育児 9.令和	休業等	年	予定	E	の翌日」が 育児休 終了(予定	業等	、かつ複 9.令和	数回	育児休業	等を	F	3場合 (2) 育児休 取得[業等	日	欄も記入してく ② 就業予定日数	ださい。

育児休業等

終了(予定)年月日

育児休業等

終了(予定)年月日

育児休業等

終了(予定)年月日

日 29

日 33

9.令和

9.令和

9.令和

年

年

月

月

育児休業等

取得日数

育児休業等

取得日数

育児休業等

取得日数

日 30

日 34

就業予定日数

就業予定日数

就業予定日数

日

日

日 ③1

日 ③5

育児休業等

開始年月日

育児休業等

開始年月日

育児休業等

開始年月日

2

3

4

28

32

9.令和

9.令和

9.令和

年

年

月

月

この申出書は、「1歳未満の子を養育するための育児休業」(「出生時育児休業」を含む)、「保育所待機等の特別な事情がある場合の 1歳から1歳6か月に達するまでの育児休業」、「保育所待機等の特別な事情がある場合の1歳6か月から2歳に達するまでの育児休業」、 「1歳から3歳に達するまでの子を養育するための育児休業に準ずる休業」を取得した場合に提出していただくものです。

- 「出生時育児休業」とは、子の出生後8週間のうち最大4週間について、取得することができるものです。「出生時育児休業」においては、労使で事前調整したうえで休業期間中に就業することを可能としており、その就業する予定の日数を「就業予定日数」といいます。
- この申出により保険料の免除を受けられる期間は「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」に基づく育児休業等期間に限ります。原則、事業主等は労働者にあたらず、この法律に基づく育児休業等は取得できないため、申出はできません。
- ・この申出は、育児休業等開始年月日から、育児休業等終了後1月以内(例:終了日が3月31日の場合は4月30日まで)の間に提出してください。
- ・標準報酬月額にかかる保険料が免除となるのは、原則、育児休業等開始年月日の属する月分から、育児休業等終了年月日の翌日の属する月の前月分までとなります。
- ・育児休業等開始年月日の属する月と育児休業等終了年月日の翌日が属する月が同一の場合には、<u>当該月内で合計14日間以上の育児休業等を</u> 取得しているときに限り、その月の標準報酬月額にかかる保険料が免除となります。
- ・育児休業等開始年月日から1月を超える育児休業等を取得した場合に限り、育児休業等開始年月日の属する月から育児休業等終了年月日の翌日が属する月の前月までに支払われた賞与にかかる保険料が免除されます。

記入方法

提出者記入欄 : 事業所整理記号は下図を参照し、新規適用時または名称・所在地変更時に付された記号を記入してください。

事業所 整理記号 0 1 - イ ロ ハ

<共通記載欄> ①~⑪は必ず記入してください。⑫~⑭は該当する場合は必ず記入してください。

①被保険者整理番号 : 資格取得時に払い出しされた被保険者整理番号を、必ず記入してください。

②個人番号 :本人確認を行ったうえで、個人番号を記入してください。基礎年金番号を記入する場合は、基礎年金番号通知書等に記載されてい

(基礎年金番号) る10桁の番号を左詰めで記入してください。

③被保険者氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。フリガナはカタカナで正確に記入してください。

⑥養育する子の氏名

④被保険者生年月日 : 被保険者生年月日欄の年号は該当する番号を〇で囲んでください。

⑦養育する子の生年月日 生年月日は右図を参照し記入してください。

 5.昭和
 年
 月
 日

 7.平成 9.令和
 6
 3
 0
 5
 0
 3

⑧区分 : 被保険者の実子である場合は「1.実子」を〇で囲んでください。

被保険者の養子である場合は「2.その他」を〇で囲んでください。

⑨養育開始年月日(実子以外) : 「⑧区分」で「2.その他」を選択された場合に、その養子である子の養育を開始した日付を記入してください。

⑩育児休業等開始年月日 : 被保険者が養育のために休業する期間を記入してください。

被保険者が女性で実子を養育する場合は、もっとも早い育児休業等開始年月日は原則として、子の生年月日の翌日から起算し

て57日目となります。

養子を養育する場合は、養育開始年月日を記入してください。

「A.延長」「B.終了」の届出をされる場合は、最初に育児休業等の申出を提出された際に記入した開始年月日を記入してください。

①育児休業等終了(予定)年月日: 育児休業等終了(予定)年月日を記入してください。なお、育児休業等の取得区分に応じて、1歳(パパママ育休プラスに該当する

場合は1歳2か月)、1歳6か月、2歳、3歳に到達する日以前の日付を記入してください。

育児休業等終了(予定)年月日に引き続き、別の取得区分の育児休業等を取得する場合には、延長届として提出してください。 「A.延長」「B.終了」の届出をされる場合は、最初に育児休業等の申出を提出された際に記入した育児休業等終了(予定)年月日

を記入してください。

①育児休業等取得日数 : 「育児休業等開始年月日」から「育児休業等終了(予定)年月日」までの日数(出生時育児休業にあっては「就業予定日数」を差

し引いた日数)を記入してください。

⑬就業予定日数 : 同月内であって、「出生時育児休業」ではない場合には、「0日」と記入してください。 なお、就業予定期間を時間単位で定めた

場合は、期間内の就業予定時間数を一日の所定労働時間数で除した数(小数点以下切り捨て)を記入してください。

⑭パパママ育休プラス該当区分: パパママ育休プラスに該当する場合は、チェックをしてください。

※ パパママ育休プラスとは、父母ともに育児休業を取得する場合、育児休業取得可能期間を子が1歳から1歳2か月に達するまでに 延長する制度です。なお、父母1人ずつが取得できる休業期間(母親の産後休業期間を含む。)の上限は1年間となります。

<A.延長> <u>育児休業等取得者申出書の期間を延長される場合は、共通記載欄①~⑭を記入のうえ、⑯を記入してください。</u>

⑩育児休業等終了(予定)年月日(変更後) : 変更後の終了予定年月日を記入してください。今回延長申請する育児休業等の取得区分に応じて、1歳(パパママ育休

プラスに該当する場合は1歳2か月)、1歳6か月、2歳、3歳に到達する日以前の日付を記入してください。

<B.終了> <u>申出の際に記入された終了予定日より早く育児休業等を終了した場合は、共通記載欄①~⑪を記入のうえ、⑱を記入してください。</u>

18 育児休業等終了年月日 : 実際に育児休業等を終了した日付を記入してください。

育児休業等取得申出の際に記入した終了予定年月日と実際の終了年月日が同日の場合や、育児休業に引き続く『産前産祭休業取得申出書』を提出する場合には、奈児休業等終る民の提出は必要を出ませた。

後休業取得申出書』を提出する場合には、育児休業等終了届の提出は必要ありません。

<C.育休等取得内訳>「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同月内で、かつ複数回に分割して取得する場合のみ記入してください。

②②②②育児休業等開始年月日 : 「⑩育児休業等開始年月日」を参照してください。

②②③③育児休業等終了(予定)年月日:「①育児休業等終了(予定)年月日」を参照してください。

②②③③④育児休業等取得日数 : 「②育児休業等取得日数」を参照してください。 ②②③就業予定日数 : 「③就業予定日数」を参照してください。

お知らせ

- ・ 保険料の免除期間中も健康保険・厚生年金保険の被保険者資格が存続しているため、標準報酬月額に基づき、将来の年金額の計算が行われます。
- ・ 賞与保険料が免除される場合も、標準賞与額として決定し将来の年金額計算等に用いられるほか、健康保険の年度累計額に算入されるため、賞与 支払届の提出が必要です。

 原則、育児休業等終了日の翌日が属する月分から保険料が発生します。育児休業等終了後に受ける報酬が、従前あった場合は、『育児休業等終了時報酬月額変更届』『養育期間標準報酬月額特例申出書』を提出することが・ 	前の標準報酬月額と比較して変動が できます。